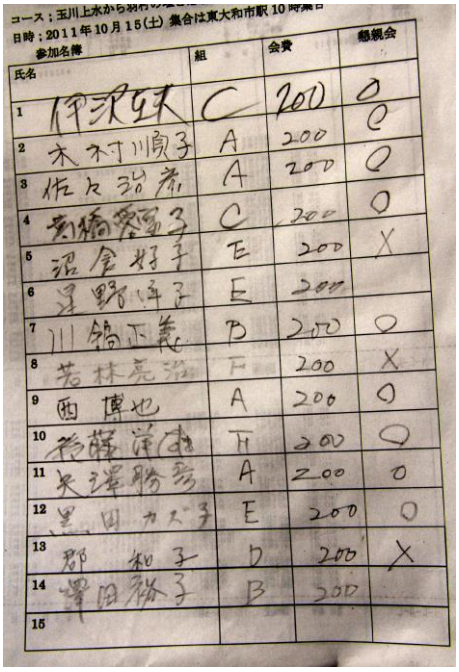
整備された日本庭園に感激

今回の参加者名簿



コース；玉川上水から羽村の堰
日時；2011年10月15(土) 集合は東大和市駅10時集合
参加名簿

	氏名	組	会費	懇親会
1	伊沢好	C	200	○
2	木村順子	A	200	○
3	佐々治希	A	200	○
4	南橋愛子	C	200	○
5	沼倉好子	E	200	×
6	建野洋子	E	200	
7	川鍋正義	B	200	○
8	若林亮治	F	200	×
9	西博也	A	200	○
10	長藤洋[illegible]	F	200	○
11	矢澤勝彦	A	200	○
12	黒田カズ子	E	200	○
13	郡和子	D	200	×
14	澤田[illegible]子	B	200	
15				

「弐拾四文」にての反省会(クラス会)(PM5.00~9.00)

生ビールの喉越しのうまさに感激！！！！

御苦労様でした；解散

玉川上水のルーツをたどる

第7回　３４歩く会

平成２３年１０月１５日（土）

測量用の綱を手にして立っているのが、兄の庄右衛門

⑪ 玉川兄弟銅像

玉川上水を巡る （Ｐａｒｔ－２）

東大和市駅から羽村の堰へ

玉川上水は、羽村の取水堰（標高１２８ｍ）を起点に、四谷大木戸（標高３２ｍ）まで続きます。江戸の飲料水として、玉川兄弟が２度の失敗を乗り越え、資材を投じて１６５３年４月４日に着工して、１１月１５日に完成し、翌年から江戸市中への通水が開始されました。

昨年の東大和市から小金井公園までのＰＡｒｔ－１に続き、今回は東大和市から玉川上水の起点の羽村の堰まで辿るウオーキングです。

東大和市駅を１０時に出発し、玉川上水に沿った遊歩道を拝島駅まで歩きます。残堀川との交差に注目！　拝島駅近くの水喰土公園で昼食とします。この水喰土公園は、かって玉川兄弟が堀を作りましたが、水が砂利層にどんどん吸い込まれてしまうために、ルートを変更した場所です。

この公園からは玉川上水と付きず離れずして多摩の自然の中を進み、田村酒造にでます。田村酒造ではできれば工場見学と酒（「嘉泉」）の試飲をしたいと思います。

田村酒造からは、まだまだ豊富な水量と川幅を保ち、緑陰の間を縫う流れを追跡し、玉川兄弟の銅像のある羽村の堰に到着します。

羽村の堰からは羽村駅に出て、電車で東大和市駅に戻ります。　（歩程距離；　約１５ｋｍ）

１．　開催日；　平成２３年１０月１５日（土）　１０時集合

２．　集合場所；　東大和市駅

３．　歩行コース；　(ト)はトイレ

東大和市駅(ト)→玉川上水駅→見影橋公園(ト)→天王橋→上水公園(ト)→拝島駅(ト)→
10:00　10:20　11:00　11:45　12:00

水喰土公園(ト)（昼食）→ほたる公園→中福生公園(ト)→田村酒造(ト)（工場見学、試飲）→
12:15　12:45　13:10　13:30　13:45　14:15

羽村堰(ト)　→　ＪＲ羽村駅(ト)→東大和市駅　（時間が許せば、羽村博物館の見学も可能）
14:50　15:00　15:15　16:00

田村酒造場

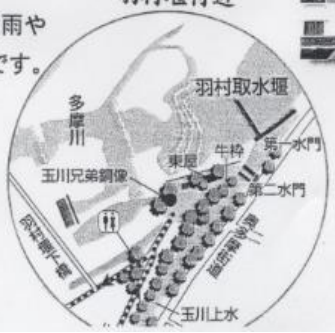
４．　注意事項；

① 小雨決行です。

② 拝島駅までは西武線に沿って歩きますので、途中で大雨やトイレが必要になったら、駅に駆け込むことも可能です。

③ 昼食は、拝島駅付近で購入が可能ですが、前もってご用意しておくことをお勧めします。

羽村堰付近



第７回「３４歩く会」

「玉川上水を巡る－２」歩行記

２０１１．１０．１５

激しい雨音で目が覚めた。戸を開けると土砂降りで、風も吹いている。今日のウオーキングはとても無理だ。こんな雨の中を参加するようなモノ好きな人はいないないだろう。　少し早めに集合場所に行き、事務局の伊澤さんと中止の相談をしようと、まずは出かけることにする。上下の雨合羽を着て、土砂降りの中、家を出る。

9 時半ころ集合場所の東大和駅に着くと、若林さんに会い、駅改札口にはなんと、7，8 名の男女が集合しているではないか！　それからも次々に集まり、集合時間の 10 時を過ぎると、男性 7 名、女性 7 名の合計 14 名が集合した。この豪雨の中、遠くは成田から佐々さんが、中野からは尾又さんが、町田からは石井さんが参加だ。　恐ろしや中(高)年パワー！

集合時間の 10 時を過ぎると、なんと、参加者のパワーか心掛けか、あんなに激しかった雨が小降りとなり、小雨になってきた。そこで、予定通りのコースで出発することにする。

予定よりやや遅く、10 時 15 分に 14 名で東大和駅を出発！　木の葉から大粒の水滴が落ちる「野火止用水」の遊歩道を進む。　さすがにこの天気では歩行者も無く、静かで、我々独占のウオーキングだ。雨にぬれ、少し黄色に色づき始めた木々の下を歩く。　やがて「玉川上水」に出る。この辺は汚水処理場からの処理水が流れており水量の少ない。　少し先に行くと、「小平監視所」があり、ここから上流は豊富な水量だ。　玉川上水の本流は、この「小平監視所」から地下隧道に入り、「東村山浄水場」に送られているのだ。先月の台風のために水が白く濁っている。ここから少し進むと、玉川上水駅に出る。(10:45)　雨も止み、ここで記念写真。

玉川上水駅からは雨上がりの遊歩道を進む。所々に水たまりがあるが、歩行者も無く、上水に沿った木の間の静かな道は、まるで森の中を歩いているようだ。足元が悪いせいか、また久しぶりの再会で話に夢中になり、歩行速度がとても遅い。

9 月 21 日に吹き荒れた台風 15 号のため、所々に玉川上水の両岸の大きな木が倒れたり、途中から折れて上水の中に横たわっており、流れに洗われている。

宮の橋、金比羅橋を過ぎると、立川断層に出る。ここは以前に残堀川が流れていたところであり、上流から流れてきた上水は、ここで断層の上側に登っている。やがて御影橋に出る。ここは、かって江戸までの船便の船着き場があったところで、砂川新田へ分水口があり、その南には砂川新田を開発した名主の砂川氏宅の木立ちも見える。　上水の土手には韮の白い花が咲き、あちこちに彼岸花の咲き終わった群落がある。　ここから少し進むと、残堀川と交差する。　残堀川は川底までの深さが７，８ｍあるが、玉川上水はこの川の手前で地下に潜り、この川の下を潜って、再び元の高さに戻り下流へと流れている。　江戸時代にこのような工事ができたのは驚きだ。

更に進み、天王橋を過ぎ西武立川駅の南の公園で休憩。(12:30)　ここは、かって近くに昭和飛行機の会社があり、上空を飛行機が飛んだので上水を暗渠にしている。この辺にはラーメン屋が何軒かあり、予定より 1 時間も遅れ、12 時を過ぎているので、お腹も空き、うまそうな匂いがたまらない。　早く昼食にありつきたいが、拝島駅まで急ぐことにする。昭島温泉「湯楽の里」の脇を通り、西武線の踏切を渡りしばらく行くと、目指す「拝島駅」に到着。(13:15)　朝の豪雨で実施が危ぶまれたので昼食を用意してなかったので、駅前のコンビニで昼食を買い込む。

拝島駅からは、上水の沿った遊歩道を歩き、国道 16 号の陸橋の下を潜り、大木の生い茂った森に入る。ここで昼食にしようとしたが、蚊がいるのでもう少し先に進む。キンラン、ギンラン

の群生地がある公園の上水に沿った道を進み、八高線の鉄橋のすぐ下を潜り抜けると「水喰土公園」に出た。ここで待ちに待った昼食にする。

「水喰土公園」は、江戸時代に玉川上水の掘削時に砂礫層に水がどんどん吸い込まれてしまったので、水路を北側に変更した所だ。失敗した堀跡が今でも木々に囲まれて保存されている。13 時を過ぎているのでお腹が空き、買い込んだお弁当をあっという間に平らげた。　増田さんからは、手作りのフルーツケーキのお裾分けを美味しくいただいた。

「水喰土公園」から先は、上水から少し離れ、多摩川の河岸段丘の上に出る。ここは多摩川からは３０mほど高くなっており、多摩川方面が広く見渡せる。多摩川から取り入れられた上水が、多摩川よりも３０mほど高いところを流れていることになる。玉川上水は、武蔵野の河岸段丘を次々に登り、三鷹あたりからは尾根筋を流れ、四谷の大木戸まで流れている。高いところを流れているので、途中で　いくつか分水されて新田開発や飲料水として利用されていたのだ。

河岸段丘の急坂を下ると、断崖の下の水を利用して「ホタル公園」があり、ホタルが養殖されている。養殖場は、ガラス張りの建物で囲われている。初夏になるとホタルが群舞するのだろう。

河岸段丘の下をしばらく行き、再び５０段の階段を登り、玉川上水の脇に出る。中福生公園の上を通り「青岩院」に入る。「青岩院」は６００年前に建立された古刹で、新装された大きな本堂と、本堂前の日本庭園が素晴らしく、境内の湧水を集めた池には錦鯉がたくさん泳いでいる。

寺の山門を出ると、前方に「田村酒蔵」の大きな木立ちが見えてくる。玉川上水に架かる「新橋」を渡ると「田村酒蔵」への上水の分水口やかっての船着場が見える。「田村酒蔵」への橋を渡り、東側の門から「田村酒蔵」に入る。敷地内はきれいに整備された日本庭園が広がっている。事務所に入り、工場見学や酒の試飲をお願いしたが、本日は土曜日で先約があり、無理とのこと。酒蔵の「杉ばやし」の前で記念写真を撮る。

ここから目的地の「羽村の堰」までは約４０分の行程だが、３時半になり予定から大幅に遅れ、足の痛い人もいるので、「羽村の堰」へのウオーキングは断念することにした。

「田村酒蔵」からＪＲ福生駅に行き、全員でコーヒータイム！　喉が渇き、疲れた身体には、なんとコーヒーの美味しいこと！

福生駅から拝島駅を経由して、西武線で東大和市駅に戻る。今日一日歩いた距離も電車では30 分ほどだ。東大和市駅から南街の「弐拾四文」に行き、生ビールでカンパーーーイ！
この喉越しのなんとウマイこと！　タマンネー！　「弐拾四文」では木下さんも加わり、11 名（女性４名）で、5 時から 9 時過ぎまで「クラス会」が大いに盛り上がった。そして健康で歩けることの幸せを味わった。

次回は「東大和周辺の桜巡り」だ。　「花よりダンゴ」、いや［花より酒］かな？　健康に気をつけて、また元気に参加しよう！

歩行コース（実績）：

東大和市駅→玉川上水駅──→金比羅橋→見影橋公園→天王橋──→西武立川駅──→拝島駅→
10:15　10:45　10:55　11:25　11:55　12:00　12:20　12:35　13:15　13:30

→水喰土公園（昼食）→ほたる公園→中福生公園──→田村酒造→→ ＪＲ福生駅→東大和市駅→弐拾六文
13:40　14:10　14:30　14:50　15:10　15:25　15:40　16:10　16:55　17:05